

ネパール人生徒のための学習用語辞典の刊行と その活用を通じた外国人生徒の学習環境の整備促進

事業分野 日本国内の多文化共生社会の構築推進、外国人材受入れ支援に関する事業

■実施団体

(団体名)とちぎに夜間中学をつくり育てる会

(所在地)宇都宮市宝木町 1 丁目 250-6

■事業期間 2023年9月～2024年8月

■対象国・地域 日本: 栃木県中心に全国

■事業目標 日本国内の外国人生徒、特にネパール人生徒の学習環境の整備促進

■事業内容

①学習用語辞典『中学教科単語帳』(日本語 ⇄ ネパール語)の作成

②同辞典の活用方法の検討及び普及活動

③外国人児童生徒全体が直面している問題を理解し共有していくための勉強会・交流会の開催

■事業実施の背景

栃木県内の外国人住民数は増加傾向にあり、特にアジア諸国からの流入が目立っている。その中でもネパールからの住民数、増加率は上昇の傾向にある。このような外国人児童生徒の学びの支援としての多言語教材、学びの場の必要性が確認され、有用な教材の発行と学びの環境整備促進のため、同事業活動に取り組むに至った。

団体のこれまでの取り組み

団体代表が2016年頃より夜間中学に関する調査研究を進め、2021年3月に団体を設立。同年10月から自主夜間中学の活動に関わり、2023年4月には宇都宮大学キャンパス内に、主に高校進学を目指す外国人生徒と高校入学後の外国人生徒への学習支援を目的とする多様な学びの教室を新設した。

事業実施の工夫点・成果

- ・作成された教材は全国すべての公立夜間中学44校に贈呈され、活用が広がっている。
- ・ネパール勉強会・交流会等を複数回開催し、ネパールの国・人々の紹介や外国人の学習のための情報共有の機会を設けた。このような取り組みは地元紙で報道されるほか、同会合がきっかけとなり2024年10月から栃木市国際交流協会による会場無償提供での自主夜間中学の開校につながった。

